

山梨県神社庁報

かみかね



令和5年春号（第201号）



河内領一宮賀茂神社屋根替え前の上空からの撮影

神宮大麻暦頒布終了祭報告

山梨県神社庁 参事 飯 田 直 樹

令和四年度の神宮大麻暦頒布終了祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模が縮小され、参列者を鷹司尚武統理及び各都道府県神社庁長に限定し、三月五日午前十時から内宮神楽殿で久邇朝尊神宮大宮司以下の神職奉仕のもと斎行された。当県からは、小佐野庁長と私の二名が参列致しました。

修祓、献饌ののち、亀田幸弘神宮少宮司が祝詞を奏上し、次に久邇大宮司以下祭員が八度拝を行い、鷹司統理の玉串奉奠に合わせて参列者が拝礼、祭員退下後には神社本庁奉納の大々神楽が奉納された。

祭典後、参集殿へ移動し直会があり、久邇大宮司、鷹司統理より挨拶があり、久邇大宮司は頒布活動への感謝と大麻奉斎の意義啓発への尽力を要請され、鷹司統理も神宮大麻頒布終了祭が滞りなくおこなわれたことへの喜びと大麻頒布への一層の協力を求めた。その後、鷹司統理に合わせて一杯一拍手で神酒拝



戴。恙なく終了した。
参列者は祭典に先立ち、外宮内宮で御垣内参拝を行った。また、神宮大麻暦頒布春季推進会議は四年連続で中止となり、書類送付を以て報告とされた。
当日の神宮は天候にも恵まれ日曜日ということもあり、大勢の参拝者で賑わっておりまし

神宮大麻暦頒布実績報告

本年も令和二年度より続くコロナ禍により、感染対策を講じた上での頒布活動となりました。この様な厳しい状況下ではありましたが、献身的な頒布従事者のご努力、また頒布向上計画委員会、教化委員会による広報活動により、県全体の頒布数は、前年度を五十一体上回る一〇七、四二五体になりました。これは、県内世帯数のおよそ三割に当たります。特筆すべきは、中大麻の前年比五四七体の増体と、大大麻の前年比八九体の増体でしょう。

今年度は、明治天皇の思召しによる神宮大麻全国頒布の開始から一五〇年の佳節であり、神社庁・支部・管内神社の連携のもと例年に増して神宮大麻頒布推進活動を行いました。コロナ禍という異例の事態の中ではありましたが、施策の成果と課題の検証を行い、次年度の大麻頒布活動に繋げてゆきたいと思えます。

支 部	小 大 麻		中 大 麻		大 大 麻		大 麻 合 計		郷 土 暦	
	頒布数	増 減	頒布数	増 減	頒布数	増 減	頒布数	増 減	頒布数	増 減
甲 府 支 部	15,055	- 483	1,424	+ 100	177	+ 10	16,656	- 373	456	- 29
東 山 梨 支 部	12,511	- 211	387	+ 34	154	- 6	13,052	- 183	379	+ 2
東 八 代 支 部	10,500	0	800	+ 150	120	+ 10	11,420	+ 160	445	0
峡 南 支 部	7,876	- 130	462	+ 2	189	- 1	8,527	- 129	1,120	0
峡 中 支 部	15,075	+ 115	876	- 10	37	- 4	15,988	+ 101	510	0
峡 北 支 部	11,247	- 180	432	- 24	41	+ 7	11,720	- 197	1,177	- 2
南 都 留 支 部	16,923	+ 29	3,670	+ 270	765	+ 80	21,358	+ 379	7,700	0
北 都 留 支 部	3,011	+ 276	4,208	+ 25	185	- 7	7,404	+ 294	962	- 32
神 社 庁 扱	1,300	0					1,300	0		
合 計	93,498	- 584	12,259	+ 547	1,668	+ 89	107,425	+ 52	12,749	- 61

令和四年度大麻並暦頒布実績表

令和五年一月

一都七県神政連

本部長・幹事長・事務局長会議

神政連山梨県本部 幹事長

根 津 佳 明

去る令和五年三月九日に『一都七県神道政治連盟 本部長・幹事長・事務局長会議』が、富士山の御膝下である富士吉田市「鐘山苑」にて執り行われました。

この会議は、一都七県で持ち回りにて行われますが、コロナの影響もあり対面では四年振りの開催となり、今回は山梨県が主催の年となりました。十四時から始まった式典では、飯田直樹参事が司会を務め、渡邊學副本部長の「開会の辞」、渡邊平一郎本部長の先導による「神宮遙拝」、コロナ禍ということで感染症対策として「国歌静聴」、「宣言・綱領唱和」は私が行い、その後「渡邊平一郎本部長挨拶」「小佐野正史神社庁長挨拶」が行われた。来賓としては、「神道政治連盟中央本部 打田文博会長」「美しい日本の憲法をつ

くる山梨県民の会 白井成夫会長」より御祝辞を賜り会議へと進んで参りました。

会議では「中央本部の活動報告」として、第二十六回参議院議員通常選挙・皇位の安定的継承・憲法改正早期実現の為に運動・LGBTと同性婚についての提言や報告がされた。「一都七県の活動報告」ではそれぞれの報告が活発に行われました。当県と致しましても、昨年の参議院選挙では自民党推薦の永井学氏を全面的に応援し、山教祖が支援する立憲民主党の議席を二十四年振りに奪還することが出来たこと。神政連推薦の比例区山谷えり子先生については、県内の認知度向上に努め、県推薦候補者と合同の「山谷えり子・永井学を励ます山梨県民会議」を実施したこと。山梨県

の自民党には、知事を始め五名の国会議員がいるので、これまで以上に県民の憲法改正への機運を高めるチャンスにあること。自民党主催の櫻井よしこ講演会が行われたこと。長崎幸太郎知事の会を年六回行っていることなどをお伝えいたしました。

その後「ウクライナ戦争の教訓と日本の課題」と題して、麗澤大学特別教授 元空将 織田邦男先生による講演会が開催されました。我が日本が核保有国に囲まれていること。ウクライナ侵略戦争の影響による台湾有事など、常に戦後最大の危機にさらされていること。日本の軍事力の増加が防衛力に比例していることなどを教えていただき、日本が自ら自国を守る国になり、さらに子ども達の輝かしい未来を考えての防衛費の増額だと理解しました。

懇親会には、山谷えり子参議院議員、有村治子参議院議員、赤池誠章参議院議員、堀内詔子衆議院議員など多数の御来賓の方々にご出席をいただき挨拶

を頂戴し、中谷真一衆議院議員には祝電を頂戴し、成功裏に終えることが出来ました。

結びに、我々神政連では日本の伝統文化を尊重し、自国の文化に誇りを持てる社会づくりをめざし今後も活動してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



一都七県神道政治連盟本部長・幹事長・事務局長会議

神殿例祭

神道青年会 元会長

藤 巻 普 紀

去る令和五年一月二十四日に山梨県神社庁神殿に於いて神殿例祭が斎行されました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努める中、初会での飲食を中止等の対策を講じ斎行されました。斎主は小佐野正史庁長、副斎主は秋山忠也甲府支部長理事、献幣使に上文司厚本庁評議員理事、典儀に乙黒洋教化委員長理事、奏楽には山梨県神道雅楽会金子寿元副会長、篠原康正理事、中川武仁会員、佐々木浩文会員、相田卓也会員の奉仕の中、青年会より祭員として丹沢稜、岡田美佐子、舟久保瑠似、献幣使随員に藤巻普紀の四名が奉仕をさせて頂きました。先輩神職の皆様と奉仕をさせて頂く事、多くの県内神社関係者の前で作法を行う事は普段にはない緊張感の中ではありませんが、青年会員にとり、神殿例祭は貴重な経験をさせて頂いた機会になります。

神殿例祭は左記の次第に則り斎行されました。

一、修祓
一、斎主一拝（諸員之に倣ふ）

一、開扉（この間奏楽）
一、献饌（この間奏楽）
一、斎主祝詞を奏す
一、本庁幣を献ず
一、献幣使祭詞を奏す
一、斎主玉串を奉りて拝礼
一、献幣使玉串を奉りて拝礼
一、参列者玉串を奉りて拝礼
一、本庁幣を撤す
一、撤饌（この間奏楽）
一、閉扉（この間奏楽）
一、斎主一拝（諸員之に倣ふ）

神殿例祭が予防をしながらも通常に近い形で斎行された事により、県内各社の祭典や行事が通常通りに戻り各御社の社頭が本来の姿に一日も早く戻りますよう祈念し報告とさせて頂きます。



初会開かる

神社庁峡南支部

稲 葉 政 信

新年初頭の神社庁行事である、神殿例祭が一月二十四日に神社庁神殿にて斎行され、その後恒例の神職総代会同の初会が峡南支部司会の元行われた。まず、はじめの言葉を古屋副庁長が述べ、コロナ禍の為、国歌斉唱と一月一日唱和は、音楽を聴きながら心で唱和した。次に、小佐野庁長、小尾総代会長より挨拶を頂き、講演となった。講師は神社本庁教化広報部長の牛尾淳先生。

牛尾部長とは、元々、神社本庁野球部と山梨県神社庁野球部との年一回の交流戦で私も二十代の時からお付き合いしている関係もあり、話の触りはそんな

思い出話から入った。次に、教化施策を山梨県版に掘り下げる為に、対象県として牛尾部長の生まれ育った鳥取県との統計数値の比較をされた。鳥取県も山梨県同様過疎化が進み、過疎地域における神社の存続、氏神社における氏子離れが大きな問題であると提起した。

まず、過疎地域における神社の存続については、地域の中で有力神社に氏子減退の神社を神社合併して、地域の氏神様と氏子を守る事を話された。神社からの氏子離れについては、神職が率先して地域の活動に顔を出し、地域密着性を強くすること、神職が地域の中での存在感を増し、神社の行事にも参加そして力を貸して頂ける方が増えると話された。むすびとして、神社本庁から様々な神職総代を助ける為の、教化広報リーフレットが頒布されているので、ご活用頂きたいと締めくくった。

最後に、小山副庁長からおわりの言葉があり、初会は無事終了となった。



神殿祈年祭

若宮八幡宮 禰宜 藤 原 永 起

令和五年二月六日、山梨県神社庁神殿に於いて、斎主 篠原敬逸、副斎主 藤原永起、祭員 祝與一郎、森越靖幸、内藤希の峡北支部神職五名にて祈年祭をご奉仕致しました。

当日は、日頃身を引き締め神明奉仕申し上げる中でも、粗雑になつてしまふ祭式を改めるべく、桃井一祝講師に祭儀のご指導を頂きました。

早朝より、祈年祭次第ののつとり習礼を行い、足の運び、礼や拝の角度、動線や時機の確認など詳細にご指示を頂きました。殊に、神饌をご神前に捧げる「伝供」は複数人での奉仕となるため、息を揃えるのに祭員皆が苦勞致しました。また、御扉開閉などは一社の祭式となることが多く、神社庁神殿のような基本となる大床でのご奉仕をすることが少ないので、非常に勉強となりました。

小休止をとり、神饌調理を行っているながら各々諸役を確認していると、雅楽会の伶人の皆様も揃

い、最後に通しの習礼を行い定刻に備えました。小佐野正史神社庁長をはじめ多くの神職ご参列の元、祈年祭は滞りなくご奉仕申し上げることができました。

祭典後、参列神職より御賞賛を頂き、有難い事に桃井講師よりも奉仕者一人々々にお褒めの言葉も賜りました。大変ありがとうございました。これよりさらなる研鑽を重ね、社での奉仕に身を捧げたいと思います。



神宮初参り

比枝神社 宮司 津 金 八 千 代

一月十八日(水)二十日(金)大神様のお導きの下、伊勢神宮初詣りが三年ぶりに、実施されました。

十八日早朝、県内各地より、神宮目指して出発。外宮、内宮と午後の正式参拝になりました。何度参りましても、神宮神域の澄んだ清らかな空気と時折吹く風に大神様の存在を感じ、その有難さに自ずと頭が下がります。年始めにあたり、改めて感謝の念と「仲執り持ち」の役目を再考する機会となりました。

十九日、神戸、別格官幣社湊川神社を正式参拝。先ず大きな社号標と石灯籠に驚き、立派なご社殿は、参拝者の多さを彷彿させる佇まいでした。岡村権禰宜より明治五年、御祭神楠木正成公が祀られ創建、境内の一角には、楠木正成公の墓碑が在りました。此処に名だたる幕末の志士達が、参拝された史実に感慨深いものがありました。又、御祭神が能楽の祖、観阿弥世阿弥と血縁関係にあることから東京から移設された神能殿や、又神社には珍しい日本最古のオリーブの樹が在り、異国情緒あ

ふれる神戸ならではの樹とありました。萬寿殿にて昼食後、神戸の街を散策し、茶色の湯の有馬温泉、兵衛向陽閣泊。

二十日、京都の世界遺産宇治上神社参拝。駐車場から宇治川、東岸の山が見えました。時には、その美しさに感嘆の声をあげました。四季折々の美しさを想像しながら歩いて行くと、静寂な神域の中に、ご創建平安後期、御祭神の応神天皇、仁徳天皇、菟道稚郎子命が祀られた、日本最古の神社建築宇治上神社が在りました。華美な部分を削ぎ落とした、質素であるけれども品格の有るとも美しい御社殿でした。故事にちなんだ「みかえりの兎」が知られ、授与品に様々な兎が並んでおりました。その後平等院等散策後、帰路に着き、それぞれ無事に帰宅致しました。

今回の三日間、新しい出会い発見があり、楽しく有意義な旅となりました。今後この旅で得たものを糧として、微力ながら神職として努力して参りたいと存じます。

教化講演会

教化委員会 研修部長

松 田 公 仁

令和五年二月六日山梨県神社庁にて、佐々木優太先生による「神社再興の道標」と題してのご講演がありました。

先生はシンガーソングライターであり、神社ソムリエ・神社巡拝家でもあり、現在一万社以上の神社を巡っており、御朱印も四千以上もあるそうです。またYou Tubeの「神社ソムリエのあやかりチャンネル」は登録者四・七万人ほどおり、日を追うごとに登録・再生回数も伸びてきています。またラジオやテレビにも多数出演する中、



有名な番組「マツコの知らない世界」にも二回ほど出演しており、紹介された神社は多くの参拝者が訪れています。

このコロナ禍で神社庁にこれだけ多くの人が集まったのは、本当に久しぶりのことでした。

神社巡りをしようと思ったきっかけが、幼少期の貧乏というトラウマ、それを乗り越えて来た結果裕福にはなったが、精神的に満たされていない現状があり、その中で伊勢神宮へお参りに行かなければならないという思いに駆られたのがきっかけとなりました。各地の神社を巡拝していくうちに、この思いを情報という形にして発信して伝えていくことを旨としています。動画を見ますと、東日本大震災の災害にあった神社、原発の近くにある神社の現状など、事細かく発信されています。また建築様式・社格や正式な作法、有名人とのコラボなど積極的に発信されています。



その中で厳しい現状の話をされ、多くの一般の方は神社をサービス業だと思っているとの事、薄々は感じていましたが寂しい限りです。またいくら教化を行っても分からない方にどれだけ話しても差は開くばかりとも話されていました。

各神社は様々な特色があります。特殊神事もあり、氏子神社・崇敬神社では色々違っており、また神社は地域ごと、成り立ち、立地など大きな違いがあり、その強みを伸ばすことも、発展する一つの方法で有ると感じています。またこのコロナ禍にて改めて祈りの場が見直されています。

これから日本は少子高齢社会がもつと進み、急速に人口が減

少し、山梨では三十年後人口が半減する市町村もあると言われています。その中で地域のコミュニティの場として神社の果たす役割は大きくなってきています。また積極的に参拝者（崇敬者）を受け入れる体制を整えるべきかもしれません。

先生は九年前、当神社（差出磯大嶽山神社）にご参拝にお越しになりましたが、現在の姿とは全く違う印象を受けました。多くの神社を参拝し、支えている神職・総代・氏子崇敬者の方との交流を深めて行くことが、変わるきっかけになっていると感じました。これからは神社のことを発信し続けて頂き、後世の人々にも続く神社として、伝えて頂きたいと願っています。



絵本 日本の神話

大国主の物語（第七話）



お子さん、お孫さんと、
神話の世界をお楽しみ下さい。

「一般財団法人 日本文化興隆財団」提供
問い合わせ 東京都渋谷区千駄ヶ谷四―五―十
電話 〇三―五七七五―一四四五

一冊 二〇〇円



「いそげ、いそげ。」

オオクニヌシは
スセリヒメをおんぶして 走りまわりました。

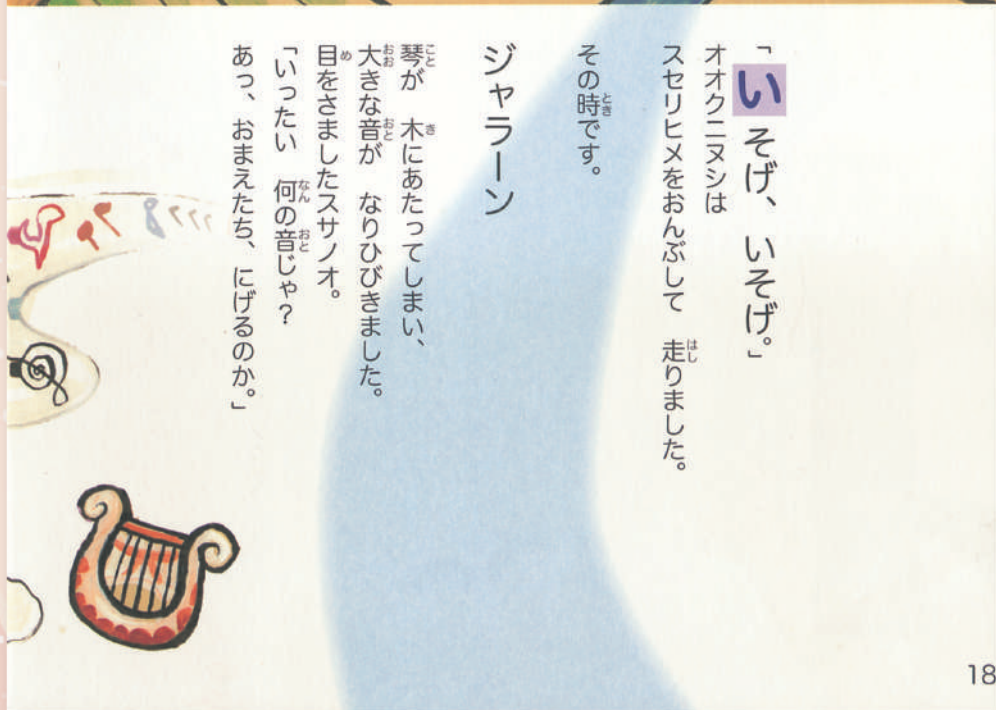
その時です。

ジャラーン

琴^{こと}が 木^きにあたってしまい、
大きな音^{おと}が なりひびきました。
目をさましたスサノオ。

「いったい 何^{なん}の音^{おと}じゃ？」

あつ、おまえたち、にげるのか。」





スサノオは たちあがろうとしましたが、
かみの毛が引っぱられて うごけません。
「ええい、いまいましいわい。えいやーっ。」
力まかせに たちあがると、

ガラガラ ドッシャーン

柱がたおれて 御殿がつぶれてしまいました。

スサノオは それでもおかまいなしに
おいかけようとしたが、
二人はもう はるかかなたです。



ス

サノオは 大きな声でさけびました。

「おーい、オオクニヌシよ。

かずかずの試験を よくのりこえたな。

おまえを 国を治める者として

認めてやるぞ。

そして いつまでも

娘となかよく くらすのだぞ。」

オオクニヌシは たちどまって ふりかえりました。

「スサノオさま、ありがとうございます。」

この国を しっかり治めますよ。」

こうして オオクニヌシは

出雲の国の王様となり、

今でも多くの人々に したわれています。

おしまい

靖國神社参拝旅行を終えて

神政連山梨県本部 本部長 渡 邊 平 一 郎

去る三月二十九日、予定通り四年ぶりに靖國神社へ参拝し、横浜中華街にて昼食を食し、中華を散策した。コロナ禍に於いて毎年の活動として計画設定するものの中止を余儀なくされた。本年度もまだコロナ禍で終息を見ない中で、役員会にて実施を決定した。ウクライナ戦争の影響もあり様々な物が値上がりする中、バス代や食事代などが値上げされ募集金額も一割の値上げをしての募集であった。バス五台、二〇〇名での募集予定であったが、予想を大幅に上まわり、倍の三百七十六名の参加を得て実施できた。コロナ禍での実施でどの位の参加があるのか不安ではあったが過去にないたいへんな数の参加者であった。コロナ禍で行動が制限された様々な行事が中止となつて三年を過ぎ、人々が待っていたのではないかと思わせる様であった。過去毎年、三月の年度末での実施である為、常に交通渋滞にあい予定よりも遅れる為本年は談合坂PAを、午前七時半出発とし、バス十台で靖國神社に向かった。今回は、靖國神社参拝前の行事は時間短縮の為、国



会議員の先生方の挨拶は、名前の紹介のみにして、バスの中でDVDによる挨拶とさせていた。森屋、赤池、堀内、中谷、永井、山谷各先生方にお出迎えた。二組に分けて参拝した。例年より早い桜の満開ではあったが、我々を待っていてくれた様に残っていた。靖國参拝を終えて、横浜中華街重慶飯店にて二階と三階で別れたものの食事を楽しんだ。食後、中華街を散策したが、たいへんな賑わいであった。このままコロナが終息し、来年も靖國神社参拝ができることを念願し、御英霊に感謝したいと思います。

北方領土返還請求運動報告

神道青年会事務局

去る令和五年二月七日、甲府駅頭に於いて、北方領土返還請求運動を、北方領土返還請求運動山梨県民会議の方々を始め、山梨県神道青年会・他関係団体より多数の方の参加により行いました。

当日は厳しい寒さの中、通勤などで甲府駅を利用する人々にチラシの入ったマスクを配布し、北方領土問題について啓発活動を行いました。

配布終了後は、街宣車を使い甲府市内を巡りながらアナウンスを行い、より多くの人々に啓発活動を行いました。

第二次世界大戦終戦直後に旧ソ連軍によって不法に占拠された、択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島からなる北方領土に対して、国民の関心と理解を深め、返還運動のいっそうの推進を図るため、国は昭和五十五年に「日露通好条約」が調印された二月七日を「北方領土の日」に制定致しました。当県では一日も早い北方領土の祖国復帰を願い、青年会創立後間もない時期からこの運動を始め、今年で五十数余年になりました。



北方領土問題を解決するためには、日本とロシアの双方が対話を進める必要があります。両国は過去に何度か交渉を行っていましたが、今なお解決に至っていません。特に、ウクライナ情勢が影響して、日露間の交渉が進まない状況が続いています。この問題を解決するためには、政府のみならず、国民一人ひとりが関心を持ち、情報を収集し、自分たちの意見を主張することが必要です。今後も、神道青年会をはじめとする関係団体の活動が継続され、多くの国民が北方領土問題について理解を深め、解決に向けて進んでいくことを祈ります。

神道青年会会長就任挨拶

新会長 濱 武 尊

令和四年十二月一日に開催されました臨時総会に於きまして、藤巻普紀会長より後任会長の指名を受け、第二十代会長の役を仰せつかりました濱武尊と申します。まだまだ未熟者であり、この大役を全うすべく日々是精進するばかりではございますが、十九代続くこの重責を誠心誠意努めて参る所存でございます。

扱、令和二年頃より新型コロナウイルス感染症が猛威を奮い、ここ数年の青年会活動が大きく制限されていたことは周知の通りでございます。しかしながら、本年三月十三日にはマスク着用が個人判断となり、五月八日には指定感染症の危険度が、五段階で二番目に高い二類相当より五類相当へと引き下げられ、漸く従来に近い形の活動が可能になることと存じます。

藤巻会長の下、既に多くの事業が疫病前に近い形で実行しておりますが、一方で未だ実行が叶わない事業があるのも事実であり、本年はそういった事業を再び行っていきたいと考えております。

又、前述の影響により社会的なシステムにも大きな変化があり、多くは疫病以前の形態へと

戻ることが予想されますが、キヤッシュレス決済やテレワークのように今後も続いていく、或いは二極化するであろうものも在ることと存じます。移行行く社会の中、恒例事業を積極的行っていき、先に申し上げました通りでございますが、今だからこそ可能な新しい事業にも挑戦していきたいと考えております。とは言え、素より浅学非才の身、今は何がやりたいのか自問自答の毎日であり、先輩諸賢が築き上げてこられた伝統と文化、時局を見極められたご活動に唯々敬意を表するばかりでございます。

今後青年会活動を展開する中、力量不足、見識不足等を感じざるような事も多くあろうかと存じますが、皆様に於かれましては、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

結びに、七十年という長きに渡り受け継いできた「会員相互の連絡、切磋琢磨を図り神社神道の興隆を期する」という本会創立時に掲げられた目標を今一度思い起こし、それに恥じないよう邁進していくことを改めて誓い、ご挨拶とさせていただきます。

全国女子神職協議会関東地区研修会報告

北口本宮富士浅間神社 権禰宜 大 嶋 実 和

春光矢地に満ちる令和五年三月八日、伊勢山皇大神宮にて、表題の研修が神奈川女子神職会主管にて開催、県から十名参加。先ず伊勢山皇大神宮にて正式参拝。伊勢山の舞を拝覧。舞は神明奉仕の中でも麗しく華やかで、神人共に喜び睦ぶ刻を戴く。

講話では伊勢山皇大神宮阿久津裕司宮司を講師に迎える。全国でも珍しい県立創始、令和二年に創建百五十年を迎えた横浜総鎮守の御社。関東大震災後再建の際、創建時の記録が残っており、非常に難儀したと有り

【古い物を辿る記録が命】と学ぶ中、今から原点回帰（過去）し人材育成（未来）に注力すること、祀りや伝統を未来に繋ぐことが叶うと語られる。人口減少に伴い、担い手不足が深刻化する中、より一層女子神職の活躍に期待を抱くと激励を賜る。

講演では女優で気象予報士の半井小絵先生より「令和の日本」防災と防衛の観点から眞の日本とこれからについて語られた。

神社や自宅のハザードマップを確認し、万が一にはどのような行動をどう取るか日頃から意識しておくことが大切。

自身の生業を通じ、マスメディアによる印象操作、報道・教育など表に出ている話だけではないと気付く。大東亜会議、東京裁判、拉致被害、憲法改正、天皇皇室：守るべき、変わるべきものを見失わない日本であるよう考えていく時代にある。

神奈川県神社庁語り部チームによる日本の神話は、映写、語り、雅楽を以って演じられ、日本昔ばなしの実演版にて、神道教化の新たな形として受容されるであろう。

来年は山梨が主管となるので皆様の御力添えを賜り成し遂げたい。



祭典を斎行して

黒戸奈神社太々神楽

黒戸奈神社

宮司 今 澤 昭 彦

太々神楽の由来については、古事記の神話によると、天照大神が天の岩屋の中に姿を隠した為世の中が闇となり、この時神々が相談して天照大神を岩屋戸の中からお招きする為岩戸の前で舞を奏した事によるとされている。従って「天の岩戸開の舞」は、神楽の舞子総出演で舞われ、この間に神社本殿では神事が執り行われる。神社の創建は大宝二年と伝えられ祭神は素戔鳴尊を祀り地域の総鎮守社である。神楽の創始については明らかではないが戦国時代には武田信玄の信仰が厚く家臣の馬場美濃守信春が永禄七年七月社殿造営と御神鏡を寄進していることから、太々神楽の「四剣の舞」は、武田信玄の戦勝神楽とも言われている。昔は、毎年二月二十日を例祭として奉納されていたが、明治四十四年より四月十二日を例祭として現在に至っている。太々神楽の太々とは「だ

だ」と言う意味で、大地や舞台を力強く踏むことで悪霊を追いかいとされている。太々神楽には二十四座があり神社の歴代の宮司をはじめ神樂講、氏子の総意により伝統芸能として引き継がれてきた。以来今日に至るまで毎年四月十二日の例祭には、地域の安泰、人々の健康、豊作などを祈願して神楽が奉納され伝統あるふるさとの祭りである。又甲州市勝沼町の氷川神社山梨市の差出の磯大嶽山神社の例祭にも神楽奉奏が行われている。特に昭和三十三年には、伝統芸能が評価され宮内庁に招かれて神楽献上奉奏の栄によくしたことは、黒戸奈神社太々神楽にとつては最高の名誉であると言える。(太々神楽は、山梨市指定無形民俗文化財である。)



神社屋根替え工事安全祈願祭

一宮賀茂神社

宮司 稲 葉 政 信

当神社は、天平勝宝年間七五〇年創建、約一二七〇年の歴史ある古社です。一宮とは、東西河内領(富士川沿岸)の一之宮を指します。神社は風雪に耐え、古い形態を今に残しますが、六年ほど前より文久三年(江戸時代後期)に建てられた一六〇年の歴史ある拝殿より雨もりが認められ、何度となく建設委員会を立ち上げようと試みましたが、屋根替えには三千万円以上の経費が必要であり、氏子七十戸全体を説得することが出来ませんでした。しかし、神社のご意見番であった石川顧問が逝去されると、不思議と雨漏りが顕著になり、氏子の意識も何とかしなければと変化して参りました。そこで、氏子の負担をまずは五百万円として、残りの二千五百万円を氏子有力者、氏子縁者、兼務神社の協力者から募ってまずは始めてみようとなり、令和四年四月に屋根替え事業委員会を立ち上げ、募財がスタートしました。

宮司・役員がまず先頭を切って大口で奉賛し、宮司・役員、親戚、氏子の有力者、神社墓地

に入っている崇敬者に力を貸して頂き、委員会でチーム編成をして、下山区区内を全戸歩き、また地区外の兼務神社(二十五社)にもお力を頂き、何とか三千二百万円を達成できました。本年一月には本体工事を請け負う下山宮大工出身の伝匠舎(株)石川工務所と本契約を交わし、二月立春に屋根替えに伴う境内林伐採と本体の工事の安全祈願祭を行い、二月末には屋根に掛かっていた樹木の枝打ちが完了、三月には足場が組まれ、四月には拝殿幣殿の屋根撤去工事(トタン、茅、屋根木材)が始まっています。本年十二月には屋根替え工事が完了している予定ですので、一六〇年前の歴史ある拝殿の上に煌びやかな銅板葺き屋根の竣工報告をいづれしたいと思ひます。

ご奉賛に感謝致します。



支部だより

峡中支部

支部長 内藤 正隆

三月に入り、それぞれの神社も収支報告等や春祭りの準備に忙しい事と思います。とは言えこの三年間の新型コロナ感染症シヨックは多くの影響を及ぼし、感染症法の分類が、五類相当に移行されても、全く元の祭りの形を維持できるかが不安です。

さて峡中支部では、この感染症の流行から、集会などが叶わず二年にわたり不安定な運営となり、延期や中止もやむを得ませんでした。その中でも、大麻・暦頒布始祭は神職・各会代表及び理事に限定し斎行出来ました。更に、各神社の例祭に関しては、総代の協力もあり中止の報告は殆ど有りませんでした。

昨年に至っては流行の合間を狙い総会が予定通りに開催でき、中でも伊勢神宮新穀感謝祭が実現できた事は感慨深く思います。毎年、新穀感謝祭も人数が減りつつも、八〇人から百人程の参加があり、中には毎年参加の崇敬者もいらっしやいました。やむなく二年に渡り役員数名の

参加としていましたが、昨年は十一月には落ち着いてほしいとの思いから計画を始めました。支部の理事会に、感染者数の

波を予測ながらの事になるが、人数を絞り、十分な感染対策の上での募集と説明しましたが、不安な声もあり、一般公募ではなく、神職と総代会理事・役員とその関係者に限定し、三十名までとしました。募集中も一部の不安な意見が根強く、地域としては偏りも感じる参加者でした。やはり単発の行事とは違い二日間の旅行となると拒否反応は致し方ありません。その中でも我々が担当する上で助かったのが保険でした。二年を超えるコロナ禍において、旅行を推進させようと特化した保険で、実際の補償金額など僅かではあります。何とか実行させたい我々には、頼もしい味方となりました。無事に伊勢神宮新穀感謝祭の旅行も帰りの途に就き、山梨の夕日を見た時はホッとしてました。

三月現在、山梨ではこの感染者数も二桁となり、来期は次第に元の活動はもちろん、今まで遅れていた不活動神社対策等を積極的に行っていきたいと思っております。

峡北支部

峡北支部 石原 貞夫

コロナの影響が少なくなり、歳旦祭はもちろんの事どんど焼、道祖神祭り、筒粥の神事などが、復活はじめ、改めてこの様な神事などをみると日本人は農耕民族である事を再認識する思いです。例えば筒粥の神事などをみても作物の吉兆を占うもので、昔は氏子内だけで門外不出とされ重要なものであったことがよくわかります。日本人は自然と一体、共存しているといわれ、子供達に美術の時間にライオンを描きなさいと言うと、ほとんどの日本の子供達は、草原の中を歩いている、又は寝そべっているライオンを描きます。欧米の子供達はライオンだけしか描きません。近代絵画に於いても、日本の浮世絵がヨーロッパの絵画に影響を及ぼしたのは有名な話です。なぜなら北斎にしろ広重にしろ描いた浮世絵は、自然と人間が一体となつて、どちらかといえば自然を中心に描いているからです。西洋

の絵画はそれまでは宗教画か自画像が中心だったからです。又自然と共存しているといわれ、確かに私のまわりの氏子さん達もカマキリが卵が高い所に有るとその年は雪が多いといいスズメバチが家の軒下とか天井裏に巣を作ると雨が多いというような自然現象をみながら作物を作る事をしている。この自然と一体、共存し、はるか縄文の時から現在まで続いているこの日本の文化、風習などの上に行政・我々が信仰している神社神道があるのだと思う。行政でいえばなぜ四月一日〜三月三十一日を年度とし、学校の入学式、卒業式も三月と四月としているのか、昔に読んだコラムの中に日本は米作りが基本だからこの米作りにあわせて国の行政を決めたというのを読んだ事があるが、まさにその通りかなと思いが、まさにその通りかなと思いが、支部内の色々の神事が執り行われるのをみて日本の基礎となるのは神社神道を基にあると感じ、改めて地域に根ざし頑張っていかなければと思った次第です。

総代広場 第十二回

〈北都留支部〉

総代会長（小松神社総代）
坂本 宗正

恒例三月十五日、春のはじめの動植物が活動を始める頃、秋の収穫五穀豊穡の願い込めて又氏子皆々様方のご家庭の安泰を祈念しまして、小松神社の祭礼が斎行されます。同じ地区内に「入坂神社九月五日、出世大神宮四月二十日、祭行事が行われ、この二社を含めて三社鎮座されております。氏子総軒数一五〇戸四部落氏子の皆様にご奉仕の念に勤めております。

神社活動計画としまして、責任役員の皆様に先頭に立って維持管理、年間通しまして神社内始め、神前参道において清掃行事を崇拜の念に思いを込めて守り行く事を勤めております。元旦、松の内始め、祭典行事にて神社内始め参道国道に至るまでに提灯を付けまして参拝者、特に高齢者を始め崇敬者皆様方の足下を明るくし、神前に至るまでに快き思いを頂き、又安全安心にて参拝をいただきたく勤めております。又、元旦のみにて小松神社の御神徳を頂き、ご身

体始め、ご家庭のご安泰を御守り願いたく参拝者全員の分にお守を差し上げております。新型コロナウイルス感染症がようやく収まりつつある現状にて、北都留支部地区内各神社におきましては祭祀祭礼「古来より活気に満ちた思いを心に秘めて再開斎行しつつある様に見受けられますが、一部の神社に置かれまして三・四年間中止をせざるをえないまま来た為に、御神楽始め神輿の渡御祭事につき再開は無理ではないかなど、色々と模索をする声も聞こえてきております。このまま中止を長きに渡り行くと、二度と再開は難しく不可能になりかねない。先人達より守り継がれ来た氏神様、又守り行く流れの中で今活動を停止させてはいけない。町の発展の為に又日本固有の伝統と文化であります。「日本の祭り」是非とも時代と共に合わせまして守り行く事を心がけて神明奉仕に努め行きたいと思っております。



〈甲府支部〉

総代会長
小尾 武

去る二月二十四日山梨県神社庁甲府支部神職・総代・神社関係者「合同初会」を開催致しました。小佐野正史庁長様を初め根津泰昇顧問様その他大勢のご来賓にご出席いただき盛大に開会出来ました事に大変感謝申し上げます。

当日は、小佐野庁長様よりご挨拶いただき、石原副支部長議長により議事進行し、すべて承認されました。報告事項では令和四年度神宮大麻並曆頒布実績報告がされブロック別会議となりました。このブロック別委員会の趣旨は現在の神社を取り巻く環境も大変厳しいものが有りますので数年前に支部を五ブロックに分け少人数で対面諸問題を協議しながら互いの信頼関係を深め活発な意見を交えることにより前進する為に発足しました。

残念ながらこれまでスムーズに進みませんでしたので、本年はこのブロックを充実させ、目の前にある神宮大麻の奉斎につなげる問題、十一月の新穀感謝祭の参宮の呼びかけ、国旗掲揚運動等々の件が実績を上げることを願い再度五ブロック委員会を設置し神職総代にこの諸問題に対する意識を共有し、相互理解を深めるべく再出発すること

を満場一致で決意いたしました。新役員も新たに選出されました。◎委員長に乙黒洋「武田神社欄干」◎副委員長に中央ブロック秋山勝昭「甲府市恵比寿神社総代」◎西南ブロック櫻林公男「宇波刀神社総代」◎南東ブロック小野勝巳「酒折宮総代」◎北西ブロック大久保耕吉「池田天神社総代」◎北東ブロック山本承功「武田神社総代」◎幹事長（担当神職）に中央ブロック高原光啓「甲斐奈神社宮司」◎西南ブロック石原鎮「宇波刀神社宮司」◎南東ブロック飯田直樹「酒折宮宮司」◎北西ブロック根津佳明「稲積神社欄干」◎北東ブロック遠藤倫生「武田神社権欄干」事務局藤巻普紀「住吉神社欄干」以上メンバーで活動を開始する運びと成りました。

大変な事業でご座居ます。各ブロックの神職・総代の協力がなければ問題解決出来ません。ご指導協力宜しくお願い申し上げます。

合同初会終了後、各ブロック別の総代神職が同じテーブル席とし懇親会が催され和やかなうちに会を閉じました。更に併せて我が国の祝日の意味に親しみ国旗掲揚にご協力お願い申し上げます。

我々総代は神社の宮司・神職に協力して神社を守ることが総代の責務ではないかと思ひます。結びに各神社の弥栄と皆様のご健康をお祈り申し上げます。

今後の予定

○第十一回神社検定

(神道文化検定)

一、日時

令和五年六月二十五日(日)

※各級全国一斉に同日同時刻で開催します。

◎全てオンライン(インターネット)で開催します。

◎会場試験は実施しませんのでご注意ください。

一、受験資格

○受験するにはインターネット環境が必要です。

パソコン、タブレットなどから受験できます。

一、受験料

初級 三,五〇〇円(税込)

参級 五,七〇〇円(税込)

式級 六,九〇〇円(税込)

壹級 七,九〇〇円(税込)

一、申込方法

Webからお申し込み

<https://www.jinjakenteijp>

一、申込締切

令和五年五月三十一日(水)

一、お問い合わせ先

神社検定事務局

〇三―六六三二―三八二三

○初任神職研修会

一、日時

第一期

令和五年七月二十二日(土)

令和五年七月二十三日(日)

第二期

令和五年七月二十九日(土)

令和五年七月三十日(日)

一、会場

山梨県神社庁

一、参加費

三〇,〇〇〇円也

一、参加申込締切り

七月三日神社庁必着

但 参加者が十名以内の場合中止とすることもある。

一、諸注意

本年の初任神職研修は、新

型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、適切な措置

を講じた上で、宿泊は行わず、日帰りでの研修となります。

なお、感染状況の推移等によつては、研修自体を中止する可能性があります。



祭典日程

4・22

金桜神社春季例大祭(二十三日)

金桜神社桜まつり(五月七日)

富士吉田市新屋連神社例祭 猿橋

町猿橋八幡神社例大祭

富士御室浅間神社春季大祭 富士

河口湖町河口浅間神社例大祭 山

中湖村平野天神社御湯花祭

甲斐市中下条松尾神社例祭前夜祭

富士御室浅間神社流鏝馬祭 甲斐

市中下条松尾神社例大祭 高根町

長沢船形神社春季例大祭

稲積神社例大祭・正ノ木祭(五日)

忍野村忍草浅間神社八十八夜祭

南アルプス市高尾穂見神社折年祭

甲府市宮原町宇波刀神社春例祭

忍野村忍草浅間神社例祭(春季大祭)

北口本宮富士浅間神社初申祭 山

梨市下石森山梨岡神社春季例大祭

祭・つつじ祭り 長坂町大八田建岡神社例祭

甲斐市富士新田神明神社例大祭

稲積神社御田植祭

甲府市国玉町玉諸神社梅の折枝祭

忍野村忍草浅間神社国重要文化財指定記念祭

甲府市中央甲斐神社大祓祭

山梨市正徳寺唐土神社夏越大祓

稲積神社夏越大祓 塩山上於曾菅

田天神社夏越祭 甲府市宝穴切大

7・1

富士山小御嶽神社夏山開山祭

八代町北熊野神社お田植之祭 山

梨市下栗原大宮五所大神水防祭

住吉神社御田植祭(夏祭)

市川三郷町宮原浅間神社夏祭(祇園祭)

山中湖村平野天神社天王祭

七保町下和田春日神社例大祭 市

川三郷町鴨狩津向城山神社夏祭

(祇園祭)

大嶽山那賀都神社甘酒祭(十八日)

山中湖村平野天神社天王祭

神社夏越大祓祝祭 甲府市宮前町

八幡神社みそぎ祭 甲府市酒折酒

折宮大祓 甲府市東光寺山八幡神

社みそぎ祭 南アルプス市吉田諏

訪神社例大祭祝祭 南アルプス市

落合八王子社みそぎ祭 忍野村忍

草浅間神社夏越大祓式(茅輪神事)

忍野村内野浅間神社夏越大祓式

(茅輪神事)

7・15

7・16

7・17

